

福井県労働者福祉協議会

<https://fukui-rofukukyo.com>



〈発行〉

福井県労働者福祉協議会

〒918-8231 福井市門屋町1丁目35番地

電話 (0776) 21-5929 / FAX (0776) 21-2252

〈編集〉

機関紙編集委員会

〈発行人〉

小林 一

福井県労福協 第63回定期総会を開催！

スローガン「連帯・協同で安心・共生の福祉社会を作ろう」

【すべての議案が満場一致で可決される】



第63回定期総会開催風景

福井県労福協 第63回定期総会が、5月20日(火)にユニオンプラザ福井で、代議員21名、役員17名、構成員総数38名で開催されました。藤澤副会長の開会の挨拶後、総会議長に酒井 邦夫代議員を選出。

また、来賓には福井県産業労働部労働政策課課長 上藤 正純様、福井市商工労働部次長 西行 裕様の2名の方からご祝辞を頂きました。

報告事項は、2024年度一般活動報告、2024年度一般・特別会計収支決算報告及び会計監査報告、議事は第1号議案 余剰金の処分(案)について、第2号議案 規約の一部改定(案)について、3号議案 2025年度活動方針補強(案)について、第4号議案 2025年度一般・特別会計収支予算(案)等についてを提案し、すべての議案について満場一致で可決されました。

以下に2025年度活動方針の具体的内容を報告いたします。



酒井 邦夫 議長



矢野 義和 労福協会長

【来賓の皆様】



福井県産業労働部労働政策課
課長 上藤 正純 様



福井市商工労働部
次長 西行 裕 様

＜矢野会長挨拶抜粋＞

労福協の日頃の活動に対して、ご支援ご理解を頂いていることにお礼をお申し上げる。

振り返ってみると、私たちは未知とのウィルス（コロナウィルス）や能登半島地震などの自然災害によって世の中は一変し、イチかゼロか、白か黒かと言った極論な考え方に惑わされたり、春闘の賃上げを上回るような物価上昇に加えて、アメリカのトランプ関税などの影響も相まって実質賃金を含めて上昇せず、生活実態は相変わらずの苦しい状況である。

更には今、令和の米騒動と言われ、備蓄米を放出しても庶民にはコメが回ってこない状況で、農林水産大臣の発言を聞いていると、国民目線なのかどうなのか疑わざるを得ないものである。こういった社会情勢の中で今年の春闘は、1991年の春闘の統計以来、最高水準を維持している。福井県においては昨年の3月16日に開業した北陸新幹線の延伸、またコロナからの脱却、業績の回復、更には人材の確保などが相まって回答が高水準であることを考えれば、春闘における社会的役割を果たしているのではないかと考えている。

しかし残念ながら日本の春闘の枠組みは、「大手が引っ張り上げて、中小がそれに追いつこう」というものであり、格差があっても底上げをしていくというものになっている。こういった春闘の大切さもあるが、可処分所得の向上に向けて、「労働者福祉協議会の各種活動」も非常に大事なことであり、労働者や生活者、そして地域の皆さんからも共感を得られる活動を継続して行っていかなければならない。労働者や生活者の命と生活、そして日々の日常を守るために、労福協活動があるということをしっかり認識する必要がある。

労福協は災害や貧困、福祉と言った事に着目し、今の時代に寄り沿った活動を行い、この複雑な世の中に順応した活動を皆さんとともに作り上げてきたと思っている。

そしてこの多岐に渡る事業活動において、この礎を築いて戴いた諸先輩方に、改めて敬意を表するとともに、今後も労福協の活動を、将来に渡り継続して行っていかなければならない。

本日お集りの皆さんのそれぞれの立場の中で、労働運動や福祉運動をしっかりと行い、日々の生活や暮らしの向上を図るための知恵を出しながら、共に活動していきたいと考えている。本日お集まりいただいた皆さん、そして各組織の皆さんのご家族も含め、益々のご健勝をご祈念し定期総会の挨拶とする。

2025年度 福井県労働者福祉協議会役員体制

役 職	氏 名	所属団体
会 長	矢 野 義 和	連合福井
副 会 長	横 山 龍 寛	北陸労働金庫
〃	藤 澤 幹 雄	こくみん共済coop
〃	橋 岡 克 典	連合福井
事務局長	小 林 一	連合福井
事務局次長	宮 腰 寿 彦	員 外
幹 事	大 嶋 智	連合福井
〃	山 田 佐 智 生	連合福井
〃	島 田 一 英	連合福井
〃	谷 口 倫 章	連合福井
〃	米 谷 寿 光	連合福井
〃	山 内 正 人	連合福井
〃	板 谷 晃 一	連合福井
〃	玉 川 忠 春	連合福井
〃	高 岸 英 史	北陸労働金庫
〃	廣 辻 光 生	県民生協
〃	毛 利 利 夫	連合福井退職者連合
監 事	岡 本 光 央	連合福井
〃	坂 浩	こくみん共済coop

※福井県労協規約第11条にもとづき、会長・副会長は、幹事会において互選し決定いたしました。
2025.5.20現在

福井県労福協の 〈2025年度の活動方針補強(変更点の概要)〉

I. 労働者自主福祉運動と働く人を繋ぎ、 労働福祉事業団体の強化・発展を目指す

1. 教育活動

●労働福祉事業団体の啓発および 次代を担う人材育成のための研修会の開催

労働者福祉事業団体と労働組合が「ともに運動する主体」として関係を強化するため、労働者自主福祉事業の意義や社会的価値への理解促進を図り、共同事業としての連携強化に繋がります。

●ライフプランセミナーの開催

ライフプランセミナーを福井県労福協、北陸ろうきん、こくみん共済coop、福祉基金協会の4者主催で行います。また、会場参加とオンライン参加のハイブリッド開催を本年度も継続し、参加しやすい環境を整備します。

2. 労働福祉事業団体の連携強化

●「防災・減災フェア」の取り組み

頻発する自然災害に対し、「他人事ではない、いざという時の備え」の意識向上に向け、「家族でたのしくまなぶ！防災減災フェア」を開催します。

各労働者福祉事業団体のPRと事業団体間の連携強化を図るとともに、自治体や市民団体などより広く連携し、意義あるイベント開催に努めます。

3. 広報活動

未組織労働者、非正規で働く労働者など、労福協事業を広く県内にアピールするため、報道関係に対する取材要請や、市町広報誌との連携、効果的な有料広告などに努めます。

II. 安心できる暮らしの実現に向けた働く人たちの セーフティネットの整備および未組織労働者を含めた すべての労働者の自主福祉運動の拡大

1. 多様化する生活環境に応じた事業団体の取り組み支援

福井県知事要請で理解を得た、北陸労働金庫の各種制度の活用促進に向けた周知や、こくみん共済coopの防災減災取り組みを支援します。

また、高等教育費の負担軽減要請や、学生に対する消費者トラブル教育など、若者を対象にした政策制度活動・出前講座等への講師派遣に向けた取り組みを行います。

福井県民生協が事務局を担っている福井県フードバンク連絡会の活動に積極的に参画し、食糧支援や募金等を行い、子供の貧困対策に取り組みます。

2. こころ支えるネットワーク事業の推進（福井県補助事業）

ストレスや不安を抱える方が増加傾向にある中、福井県内の勤労者や県民の方々にとって、心のよりどころとなるよう「働く人の心健やかサポート事業」を推進します。安心して働ける職場は、心身だけでなく、業務効率や生産性、離職防止にも有効であるため、引き続き福井県補助事業として福井県とも連携した取り組みを行います。

●メンタルケア・スペシャリスト(MCS)のフォローアップセミナー

職場での実践に向けた、ステップアップ活動に繋がる取り組みを継続的。MCSとしてのレベルUPと職場での活動を支援。メンタルケアセミナーを実施する企業や組合に対し、講師派遣の継続を行う。なお、職場や地域でのメンタルケアセミナーの開催、利用拡大を呼びかける。

3. 働く悩みの解消と生活設計支援のための事業

●県内の相談事業者との連携

福井県内には、国、県、市町の行政機関が実施する相談窓口に加え、弁護士・社労士などの士業関係者や、NPO法人等の相談窓口など、多くの団体が福井で働く人たちの相談業務を担っていただいています。これらの団体との連携や、それぞれの団体が抱える課題等を共有し、福井県労福協の相談事業にも活かすため、連絡会議等の設置に向けて福井県などと協議を進めます。

Ⅲ. 関係団体との連携、協力をより深めるために

1. 福井県および県内市町自治体との連携

中央労福協が取り組む全国的な労働環境の課題や、福井の福祉事業団体の現状、労働相談の特徴などの情報交換を行い、労働者自主福祉事業の周知と行政と連携できる取り組みを模索することを目途とします。

2. 連合福井寄付講座（福井県立大学）

学生に身近でためになる講義を目指し、成人年齢の引き下げにかかる注意点やアルバイトでの疑問などについて講義の中に盛り込み、若年層への周知を進めます。

Ⅳ. 組織強化に向けて

1. 三役会議および幹事会

三役会議（偶数月）、幹事会（奇数月）をそれぞれ年6回開催。三役会議では中期的観点での組織運営や、各種活動の方向性を検討。幹事会では活動の具現化と各組織への共有を図る。

活動の報告

◇ 福井県知事との意見交換会を行い、 すべて協力的な回答を受ける!!

◇令和7年の要望として、福井県労福協は毎年福井県に対し「労働者福祉に関する諸制度の要望書」を提出し、福井県知事との「意見交換会」を実施しました。
福井県労福協からの要望書と要望書に対する福井県からの回答を報告いたします。



1. 各事業団体が実施する事業関連の要請

(1) 県内の学校現場における「防災・減災」の意識向上取組みの支援について

<要 望>

- 「防災・減災フェア」開催に対する引き続きの福井県の後援
- 福井県教育委員会による県内小・中学校への「防災・減災フェア」の広報活動支援
- 防災減災に関する講演会開催時に福井県の後援

<福井県からの回答>

- 県としては、後援を継続してまいりたい。(防災安全部、教育庁)
- 周知・広報についても、積極的に協力していきたい。(教育庁)
- 防災減災の講演会は具体的な内容を伺い、後援できるよう検討したい。
なお、講演会の開催においては、防災の有識者を派遣する危機管理課の「専門アドバイザー派遣事業」をご活用いただきたい。(防災安全部、教育庁)

(2) 制度融資「勤労者生活安定資金」の活用促進と周知広報の要望について

<要 望>

- 「勤労者生活安定資金」を県民・勤労者の方々に更に広めること。
- 「福井県の広報誌・ホームページ」等に掲載して周知広告をお願いする。
- 各自治体の「公式LINE」などの情報発信手段にて、県民、勤労者への周知を要望。

<福井県からの回答>

- これからも利用者の声を聞きながら、使いやすい制度に改定し、県はそれら活動を引き続き応援する。
- 県としては、県の広報媒体を活用し、福井県広報誌「NEWSふくい」、新聞紙面「県からのお知らせ」、ホームページへの掲載、「公式LINE」での情報発信を行うなど制度周知を行う。市町に対しても、広報への協力を呼びかけており、県内自治体でもホームページ等に掲載いただく。



(3) 福井県勤労者住宅資金利子補給制度の継続と所得制限額の引上げについて

<要 望>

- 勤労者福祉のため、「福井県勤労者住宅資金利子補給制度」のご継続。
- 福井県勤労者住宅資金利子補給制度の所得制限が400万円以下となっているが、所得制限金額の400万円の引き上げを状況に応じて検討することを要望。

<福井県からの回答>

- 福井県勤労者住宅利子補給制度は、勤労者の生活安定と福祉向上に役立つもの。県も引き続き制度を継続させたいと考えている。
- 所得制限額については、所得が増えその結果、制度を利用できる方が減少するようであれば、所得制限額のさらなる見直しも必要と考える。

(4) 高等教育費の負担軽減についての国への要請について

<要 望>

- ◇政府や文部科学省に高等教育費の負担軽減のため、以下の点を要請頂く事を要望する。
- すべての学生を対象に、大学、短大、高等専門学校（4年・5年）、専門学校の授業料を半額。
- 大学等修学支援制度の対象を多子世帯や理工農系に限定することなく、年収600万円まで拡大するとともに、授業料減免額も拡大。
- 奨学金返済に係る負担の軽減に向けて、貸与型を有利子から無利子へ、所得に応じた無理のない返済制度や返済困難な場合の救済制度の拡充。

<福井県からの回答>

- 高等教育費の負担軽減について、国は令和7年度から、3人以上の子ども扶養世帯について、修学支援新制度の所得制限を撤廃し、大学等の授業料・入学金を、国が定める一定額まで無償とする見通し。県としては「多子世帯以外についても、所得制限を撤廃」するよう求めている。
- 独自の施策として県は、今年度から子ども2人以上扶養世帯の学生が、県内大学に進学する場合、国の修学支援新制度に加え、授業料を上乗せで減免する制度を設けた。（国立大学、私立大学、専修学校も対象とするのは、福井県のみ）また、将来の福井の産業の担い手として県内企業に就職やU I Jターンする大学生等に対して奨学金返還支援制度を設け、支給額や職種等の制度拡充をしながら、若者の県内定着を支援している。更に「ふく育応援」として、県民の子育て・教育にかかる費用負担の軽減に努めたい。

(5) 未成年から成人になりたての若者への消費者トラブル教育の充実について

<要 望>

- 相談の専門家を活用し、高校・大学における講師の派遣や出前講座などで、消費者教育や金融教育の実施を望んでいる学校や大学等があれば、情報提供などのご協力をお願いする。

<福井県からの回答>

- 労働者福祉団体の講師派遣や出前講座について、県内の高等学校に周知し、家庭科やホームルームの時間等で実施できるよう調整したい。（教育庁）
また、大学生を対象にするなら、共通講義を行っているAOSSA 7階の大学連携センター「Fスクエア」の活用も一案。対面講義もしくはオンデマンド授業で行うことも考えられる。（総務部）

(6) 「こころ支えるネットワーク事業」の周知と県補助事業継続について

<要 望>

- 「働く人の心健やかサポート事業」の一環である「こころ支えるネットワーク事業」を県民の皆様に広く知って戴きご利用頂くために、広報活動へのご支援ご協力の要請及び、補助事業としての継続を要望する。

<福井県からの回答>

- 相談者の悩みに寄り添った相談対応をお願いするとともに、県は、県の広報媒体の活用やチラシ配架を行うなど、活動の広報周知に協力する。
- 心の悩み相談専門窓口でのきめこまかい対応、講師派遣による職場のメンタルケア環境づくりへの支援など、事業活動が今後とも継続できるよう、引き続き支援していく。

》活動の報告2《

福井地区メーデーフェスティバル

「チームろうふくブース」を設置し、
組合員と家族の方々に楽しんで
いただきました!!

4月29日に福井市フェニックスプラザで開催された「福井地区メーデーフェスティバル」に、「チームろうふく福井」がブースを設置し、組合員とその家族の方々に輪投げゲームで楽しんでいただきました。

チームろうふくとは↓

2017年に福祉事業団体（福井県労働者福祉協議会・北陸労働金庫・こくみん共済coop・福井県民生活協同組合）と連合福井地協（福井地区・丹南地区・嶺南地区）が協力をして、労働者や生活者の方々との交流を深め、働く人の生活を専門分野で応援する事を目的に組織された仲間たちです。



●福祉事業団体の通常総会・評議員会開催状況

団体名	開催日	開催場所
福井県労働福祉会館	2025年6月18日（水）	ユニオンプラザ福井
福井県民生活協同組合	2025年6月19日（木）	フェニックスプラザ
北陸労働金庫	2025年6月25日（水）	石川県音楽堂（石川県金沢市）
こくみん共済 coop 福井推進本部	2025年7月30日（水）	国際交流会館

「結1」・「結2」へのご協力、誠にありがとうございました。
能登復興への想いを継続いたします。

令和6年
能登半島
地震

復興応援 定期預金

募集枠
50億円

結^{ゆい}3

お取り扱い期間

2025年6月2日(月)～2026年1月30日(金)

お預入れいただいた残高の0.05%相当額を
(2026年1月31日現在)

北陸労働金庫が義援金として
被災された地域へ寄付いたします。

※お客様による寄付負担はございません。

個人も

1年
もの

スーパー定期
(自動継続)

上乗せ後の
適用金利

年0.335%

団体も

スーパー定期1年
店頭表示金利
(2025年3月31日現在)

年0.285%

+

上乗せ
金利 年0.05%

●上乗せ金利は当初1年のみとなります。●自動継続時は継続日のスーパー定期1年店頭表示金利の適用となります。●金利は税引前の表記です。
個人のお客様のお利息については、源泉分離課税(復興特別所得税を加算し20.315%(国税:15.315%, 地方税:5%))の税率で課税されます。ただし、マル優ご利用の場合は課税されません。
団体のお客様のお利息については、総合課税(復興特別所得税を加算し15.315%(国税:15.315%, 地方税:不課税))の税率で課税されます。ただし、非課税団体の場合は課税されません。
※商品概要については裏面をご覧ください。

寄付先

富山県・石川県・日本赤十字社福井県支部

最新の預金金利は
こちらから



北陸ろうきん



保障点検 たすけあい アクション

たすけあいの輪を広げる活動に参加してみませんか？

保障相談の実施

福祉事業団体などの活動支援として
保障相談1回あたり50円を
寄付させていただきます！
(オンライン相談の場合は100円)



公式アプリの導入 (アプリのインストールとマイページ登録)



公式アプリへの初回ログインで
20円を福祉事業団体などに
寄付させていただきます。
(2026年5月31日までに導入いただいた場合)

導入はこちら



こんな方はぜひご相談ください

ご結婚
された方



お子さま
がいる方



現在ご加入の
保険・共済を
見直したい方



住宅を購入・
住宅ローンを
返済中の方



車や
バイクを
お持ちの方



こくみん共済 coop では、さまざまな社会貢献活動に取り組んでいます！

7才の交通安全プロジェクト

“マイカー共済見積もり”
1件あたり横断旗1本寄贈！



こどもの成長応援プロジェクト

“こども保障タイプ新規加入”
1件あたり長なわ・なわとび1本寄贈！



みんなで被災地応援プロジェクト

“住まいる共済見積もり”
1件あたり100円を被災地で復旧支援活動を行う
ボランティア(支援)団体に寄付させていただきます。

詳しくは
こちら▶



中核賛成本部

長野県共済会共済生活協同組合
福井県共済会共済生活協同組合

静岡県共済会共済生活協同組合
愛知県共済会共済生活協同組合

富山県共済会共済生活協同組合
岐阜県共済会共済生活協同組合

石川県共済会共済生活協同組合
福井県共済会共済生活協同組合

こくみん共済
全国消費者共済生活協同組合

【掲示期間】
2026年5月31日まで



フードドライブ実施中

フードドライブと日用品 (紙製品・洗剤)の 寄付にご協力ください!



©2012CO・OP共同コープ



“もったいない”を“ありがとう”に
1人でもできる社会貢献



少量でも、
コープ商品以外
でもOK!

受付できる食品・日用品

- お米(白米・玄米・アルファ米)^(※)
- 缶詰・レトルト・インスタント食品
- カップ麺、パスタ、素麺などの乾麺
- お菓子・飲料
- 生理用品
- 紙製品(ティッシュペーパー・トイレットペーパー)
- 洗剤(食器用洗剤・洗濯用洗剤・石けんなど) など
- 調味料(しょうゆ、食用油など)
- 海苔・お茶漬け・ふりかけ

1ヶ月以上賞味期限が
残っている常温保存
可能なもの



受付できない食品

- 賞味期限が1ヶ月を切っているもの
- 開封されているもの
- 生鮮食品(生肉・魚介類・生野菜)
- アルコール(みりん、料理酒除く)
- 医薬品・医薬部外品・サプリメント
- 介護食・医療食

(※) お米について、玄米は前年以降、精米したお米は精米後半年以内とさせていただきます

県民せいきょうは「食品ロスの削減」と余剰食品を地域福祉に役立てて、
誰ひとり取り残さないSDGsの実現をめざします。

これまでの取り組みを
ご覧いただけます



食品ロスとは?

食品がまだ食べられるのに捨てられてしまうこと

毎日おにぎりを
1個捨てている
ことになるんだ...

日本では... 年間

472万トン

(前年比 ▲51万トン)

廃棄される食品のうち可食部分と考えられる量

事業系



236万トン

(前年比 ▲43万トン)

家庭系



236万トン

(前年比 ▲8万トン)



国民1人1日あたり
食品ロス量

約103g

おにぎり約1個分のご飯の量に相当

(農林水産省 2022年 推計データより)



フードドライブ・フードバンクに
関するお問い合わせは

0120-016-165
(受付時間) 月～金/8:30～20:00 土曜日/9:00～17:00

COOP 県民せいきょう

お問い合わせ
No.003898



きょうちゃん

『創ろうみんなで夢のある社会』

福井県労働者福祉協議会からのお知らせ！！

**働くこと、くらし、こころの悩み相談を
無料で行っています。**



フリーダイヤルにお電話、またはメールにてご相談ください。
相談員が電話でご相談に応じます。メールは3日以内(土日祝日除く)に返信いたします。
相談者の希望により、弁護士または専門機関を紹介します。

はたらくことの悩みごと相談
『福井県労使相談センター』

0120-154-052

〔丹南事務所MAIL〕
soudan6029@cap.ocn.ne.jp

〔嶺南事務所MAIL〕
soudan6029@sage.ocn.ne.jp
平日 午前9時～午後5時まで

くらしの悩みごと相談
『ライフサポートセンター福井』

ろうふく よいな
0120-629-417

〔MAIL〕
lifesupport629@axel.ocn.ne.jp

平日 午前9時～午後5時まで

仕事でこころが悩んだら…

『心支えるネットワーク』

こころ ふくい
0120-556-291

平日 午前10時～
午後4時30分まで

働く人の福祉会館

ユニオンプラザ福井

是非ご利用ください！



<ユニオンプラザ福井外観>

ユニオンプラザ福井は3階と1階に貸会議室があり、大ホールは最大160人収容できます。また約50台収容の駐車場、3階には喫煙室を完備しています。館内無料Wi-Fiは、隅々までつながるようエリアを拡充しました。各種会議、講演、集会などに是非ご利用下さい。



<160名収容の大ホール>



<約50台収容の駐車場>



<3F喫煙室>

住所：福井市問屋町1丁目35番地 ☎ 0776-26-1828

ホームページ：<http://www.union-plaza.jp/>



活動予定報告

■ 第75回 福井県勤労者美術展の開催日程が決定

◇今年の「第75回福井県勤労者美術展」は、福井県立美術館の企画展開催の関係で、例年より早い、令和7年10月の開催となります。
多くの方からの出展をお待ちしております。

＜開催スケジュールは以下の通りです＞

◇開催日時…

搬入 令和7年10月6日(月)
審査 令和7年10月7日(火)
会期 令和7年10月9日(木)～
10月12日(日)
表彰式 令和7年10月12日(日)
搬出 令和7年10月13日(月)

◇会場…福井県立美術館



作品募集

- ・ 絵画部門
- ・ 書道部門
- ・ 写真部門 を募集します。

応募資格など詳しくは
福井県労働者福祉基金協会
で検索



労福協

お楽しみクイズ

労福だよりの中に
答えがあるよ。
よく見てね!

▼「○」に数字や文字を入れてください▼

クイズの全問正解者の中から「抽選」で

10名様に2,000円分のマック(マクドナルド)カードをプレゼント!

皆様からたくさんのご応募を
お待ちしております。

Q1 第75回福井県勤労者美術展の会期日程は?

A1 令和○年○月○日～
令和7年10月12日

Q2 北陸労金の復興応援定期預金「結(ゆい)3」の販売期間は?

A2 2025年6月2日～
2026年○月○○日

Q3 こくみん共済coopの「保障点検たすけあい」のアクションとは?
○○相談の実施(○○相談1回あたり50円を寄付)
公式○○の導入(初回ログインで20円を寄付)

A3 ○○相談
公式○○○

Q4 県民せいきょうは「食品○○の削減」と
「○○食品」を地域福祉に役立てていきます。

A4 食品○○の削減
○○食品

Q5 福井県労働福祉会館は、全館で○○-○○が使える。

A5 全館で○○-○○
使えます(アルファベットで)

応募方法

①～⑤の回答と、「〒番号・住所・氏名・職場名・電話番号」を記入し、「官製はがき」で郵送または、「労福協eメール」「ホームページ」で受け付けます。

※eメールアドレス rofukukyo@sunny.ocn.ne.jp
(QRコードから読み込みも可能です)



応募資格

福井県内在住または福井県内企業にお勤めの方

郵送先

〒918-8231 福井市問屋町1丁目35番地
福井県労働者福祉協議会 お楽しみクイズ係

応募締切

2025年8月31日(日) 必着

当選者発表

当選者への発送をもってかえさせていただきます。